

# 学校保健

THE SCHOOL HEALTH No. 215

(財)日本学校保健会

生涯にわたり 心豊かで  
たくましく生きるこどもの育成  
—主体的に取り組む健康な  
ライフスタイルの確立—  
第47回全国学校保健研究大会の主題  
(平成9年・鳥取県)



## 年 頭 所 感

(財)日本学校保健会 会 長 村 瀬 敏 郎

年頭に当たり学校保健の推進にご尽力されておられる皆様方にお祝いを申し上げ、旧年中のご協力に心から感謝致します。本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

少子・高齢社会の到来とともに、児童・生徒の心とからだの健全な育成は国民的課題となっております。予測される生産人口の減少に対応するため、その質と能力の向上が期待されているからであります。しかし今日の教育現場にはまだ解決しなければならない多くの課題があり、皆さまにより一層のご尽力を仰がなければなりません。

昨年、佐賀県の関係者のご協力により「生涯を通じて健康で豊かな心を持ち、たくましく生きるこどもの育成」を主題に学校保健研究大会が開催され、充実した研究成果を挙げる事ができました。本年の大会は鳥取県の担当で開催されますが、皆さまのご努力により新しい課題が克服されることを期待しております。



## 目 次

新春座談会	
いじめの問題	…2～7
叙勲・表彰者名簿	…8～9
研究大会・特別講演	
たくましく生きるために	…10
第47回全国大会ご案内	…11
よい歯の学校表彰	…11

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

## 新春座談会

# いじめ問題 —その現状と対応について—

於 日本学校保健会 会議室

出席者	いじめ問題対策情報センター専門職員	大 場 陽 子
	早稲田大学人間科学部人間健康科学科 助教授	菅 野 純
	東京都北区立十条中学校校長	荻 谷 順 子
	東京都墨田区立両国中学校養護教諭	宮 村 まり子
司 会	会報「学校保健」編集委員	福 原 保 子
写 真	会報「学校保健」編集委員	石 川 行 男



左から 宮村、荻谷、菅野、大場の各氏 (於 日本学校保健会会議室)

### はじめに

**司会** 今回は、現在問題になっています「いじめ」について忌憚のないお話を載きまして全国の学校保健関係者の参考にしたいと思っています。

それぞれのお立場で現在のお仕事からのご発言をお願いします。

**大場** 「いじめ問題対策情報センター」は平成6年12月に開かれたいじめ対策緊急会議を踏まえ、国の政策の一つとして平成7年4月1日より準備に入り、5月8日から国立教育会館内に設けられました。今は相談に、資料提供に、各都市の研修スタッフ派遣にと利用されています。

**菅野** 私の専門は学校カウンセリングで、臨床心理学と発達心理学を専攻し、講座を持っています。以前に八王子の教育センターで相談活動をしていました。現在は東京都多摩地区と武蔵野地区の不登校児、情緒障害児の相談学級のスーパーバイザーを行っています。また啓蒙活動として各学校の研修会に同って講演もしています。

**荻谷** 私の学校は不登校児が多かったので、平成7年度から指導、援助ということで研究を始めました。東京都のいじめ対策の指定校の10校の内の1校でもあり小学校、中学校と連携して研究を推進しています。今までの啓発活動と共に、子ども達を動かしたり、実践するような形でいじめ防止対策に取り組んでいます。学区の3小学校と本校の4校で話し合いを進めています。その中でいじめ防止の標語を募り、優秀作品を印刷し、各家庭に配布したり、町会の掲示板に貼ってもらうなど地域にも協力を求めました。もう一つ、本校演劇部がいじめ問題の創作劇を作り、文化祭で披露しました。今後は自校の生徒のみでなく、小学校の5、6年生にも見てもらう予定です。劇も結論は出さずに皆で考えてみる工夫がしてあり、現在のところ標語と創作劇で活動を進めております。

**宮村** 私は中学の養護教諭で25年勤めております。私の学校では昨年、生徒会組織でいじめについてアンケートを行い、生徒会が中心となっていじめの問題をとりあげました。また、私も養護教諭の研究

会で、いじめを発見した場面等をききますと、大体四つ位のパターンがありました。一つめは、保健室



宮村まり子先生

来室時に、傷や打撲によるアザを発見する場面、二つめは休み時間や放課後に教室にいるといじめられるので保健室に逃避してきて発見する場面、三つめは、授業中にお腹や頭が痛い等といった訴えてくる場面、四つめは、日常の学校生活で発見する場面という四つの場面が考えられます。そういう子ども達を励ますために、交換日記を書いたり、心が落ち着く迄、保健室で話をしたり、勉強をしたりして、具体的にいじめられている子どもを支援したりしています。中には卒業してからも高校でいじめにあつて手紙や電話で相談してくる子どももいます。

その子の話によると、担任の先生に相談したら、そのことがわかってしまい、チクッたということで、余計いじめがひどくなったそうです。話を聞いて元気づけしかできませんが、それでも安心するのか、時々連絡してきます。このように養護教諭は保健室や日常の子どもの様子を観察していじめの発見に努め、大場先生のいじめの相談室等も活用させて頂きながら、対応しています。

### いじめの現状について

**司会** 大場先生、今、宮村先生からお話しがありました。いじめの現状はいかがですか。

**大場** 平成7年1年間に相談を受けた件数は、主に電話ですけど2433件でした。その内訳は、母、父、本人がかけてきますが、小学生が一番多く全体の34%です。この内、約半分が母親から子どものことにかかってくる。2~3%が父親で、47%が本人からかけてきます。

中学生は全体の25%で、母親48%、父親2~3%、本人49%で、高校生では全体の12%であり、自分でかけてこれずに母親がかけてくるものが48%、父親7~8%、本人45%になっています。小学1年生より、高校3年生までの内では、小学1年生は母親が圧倒的に多いです。本人のかけてくる率はとても低いです。

本人がかけてくる割合が多くなるのは小学4年生ぐらいからです。しかも圧倒的に女子が多く、男子がおなじくらいになるのは中学2年生ごろからです。

これは精神的な発達が女子のほうが早いからでしょうか。自己表現ができ易くなっているからだと思います。小学4年5年6年と多くなってピークになるのが中1中2高1で山があります。

外国の子どもは小1、2年で自ら訴えてきますが日本の子どもは自己表現ができない心配があります。いじめ対策をするには、幼稚園、小学1年で自己確認や自己表現ができる子ども達になっていったらもう少し早い時機にいじめは悪いことだとちゃんといえる子どもができると思います。

荻谷先生の学校で行っている劇等は大変よい試みだと思います。私も養護教諭時代中学2年生の生徒に自分ともう一人の自分を対称的に出して自分の心の葛藤を劇にして、生徒に判断させることを行いました。今、自分が行っていることが、良いのか悪いのか考える子ども達ができれば、いじめはもっと少なくなると思います。

日本ではいじめで自殺したりすることもあります。宮村先生がいわれましたチクッたと言われるのがいやで、だれにもいわないという子が小学校の高学年から中学、高校で起きてくるのは、自分で知恵ができて心配していえなくなって自滅してしまう。思春期の第二の誕生と言われるときに差しかかってくるし、いじめがあると、なお自分に響いてくるのではないかと思います。だから、もう少し早い時期に自分のことがいえる子どもになっていけば良いと思います。



大場 陽子 先生

さらに、相談を受けている中で、一度関係ができると継続してくる母親がいます。自分がどこかで満たされないものを感じていて、それを引きずって子育てをしている。子どもが可愛いけれど、どういふに愛情表現をしてよいか判らない、どのように子どもの気持ちを受け取ってよいか判らない母親がいます。自己洞察ができる場所や施設があるといいと思いました。訴えてきた中で一番多いのが、おしつけ、からかい、ひやかしなど言葉によるいじめ。いじめから不登校や心身症になったケースも多い。学校に不満であるというのもありましたが、人間関係がうまくいかない例の中で気になったのが暴力です。子ども同志でなく先生からの暴力です。親子関係、友人関係がうまくいかないという訴えもあり、無視されるなどは人間関係のまずさがあると思います。

司会 いじめの背景を伺いましたが、文部省の調査でも、大人社会が子どものいじめに対して鈍感であると指摘していますがいかがですか。

菅野 大人の問題ではいじめに負けない子どもをどうして育てるか、自ら問題解決をする力を持った子どもに育てるか、学校の先生方はなにをしたらよいのか、親は何をしたらよいのか、さらに第三者として地域は何をしたらよいのかになるが、これは難しい世の中になっています。先程、大場先生は自己表現という言葉が使われましたが、日本の学校教育では知的能力に関してはシステムが整い、課題も明確にされて先生方も教える技術を持っています。しかし、社会的能力に関する教え方は充分ではない。今迄は、家庭地域で自然に身につくのが多かったが、今は期待できない状況になっています。大学の学生を見てみても、セルフサービスの食堂で食器を



菅野 純 先生

返却しない学生がよく目につきます。してもらうことが当たり前で育っている。私への伝言メモを私のノートに書いていく学生もいます。性格が悪いのではなくて学んでいない。社会的な能力について未学習のまま大人になってしまう。この点は学校教育の中で総点検する必要がある。一つの例でソーシャル、スキル、トレーニング(社会的技能訓練)挨拶から始まり、あいづちの打ち方、状況の判断の仕方、困った時の問題解決の仕方、NOという言葉はどういうふうになんかといえるか、或いは回りの雰囲気をもり立てたりする訓練をする方法が考えられています。ここまで学習教育でやる必要はないと思われる方もいるかもしれませんが、子どもには現実に学ぶところがありません。放っておいても社会性は育たないという意識をもつことです。それと、自分のことを親がしっかり見守ってくれている、支えてくれているんだ、ということに対する感覚が弱い子どもがいるなあと思います。子どもがいじめられていると知った時に家族応援団というべき親が一生懸命動くことができるかが大事で、ここに親の問題がでてくると思います。この時に気持ちにゆとりがないと子どもの気持ちやサインを見逃がしたり、気づいても余力がないと子どもの問題より親の問題に発展することもあります。

強い自我なくじけないという気持ちが形成されるのは、昔は「何くそ」とか、くやしき、屈辱感をバネにして強くなるモデルがありました。今は豊かに

なった為に「何くそ」と感じる事がなくなってしまった。それではスパルタ的に屈辱感を与えればよいと考えられるが、そうではありません。くやしきをバネに立派になった人には、必ずその人を見守ってくれた人がいたのです。苦しい時でも信じ見守ることが大事です。これが親でも先生でもよいと思います。もう一つ最近ストレスマネジメント教育というのが米国から入ってきています。ストレスに負けない人間になる為にはどういうふうにしたらよいのか、ストレスに対処できる人間にすることです。その背景は幼児期に、レイプ、射殺など痛ましい傷を受けて成長する子どもが多い。これらの子が押しつぶされずに生きることと考えられたものです。

この要素は4つあります。(1)自己表現、(2)仲間がいる、(3)再構成(もう一度自分に起こったことを組み立て直す力、例えばA君にはいじめられたがB君はどうだったかなど、部分的出来事が全体に拡がらないような認識力を持つこと)。

いじめにあった学生からのレポートによると、①何故いじめられるかを子どもなりに考えている、②友人に何故いじめられたか聞くなど何らかの働きかけをしている、③いじめの耐え方を模索している、④いろいろな人が関わっている、⑤勉強やクラブ活動など、いじめ以外の学校生活を持っているなどの対処法をもっていたことがわかりました。そして最後の(4)はリラクゼーション、心のくつろげる場をもつ、居場所があるということです。先生方が何も起きていない時に、子ども達と良い関係を持ち、親御さんとも良い関係を作っておくと何が起った時に充分楽になります。つまり貯金を沢山しておくということです。

初期対応も大事です。自殺した子どもたちの親御さんへのインタビューでも対応のまずさが指摘されています。親はわが子の死の他に学校の対処によっても更に傷つけられることとなります。「弱者をいじめるな」という教師の言葉にそれまでいじめに耐えに耐えてきた子どもが「自分は弱者だったのか」と深く傷ついたということがありました。

教育者の言葉が大事で、いじめられた子の肩を持つような言葉をいう、不用意な言葉は慎まなければならない。

中学生から対応の中で問題になることが2つあります。1つは、いじめをしていない、俺達はふざけてプロレスごっこしていたとあって、先生がそれを論破できない。「いじめ」という言葉のあいまいさにまどわされず「プロレスごっこで無理やりわざをかけるのは暴力である。君はどう思うか」と、問いかけて具体的行動を言語化することをやって見るとよ

いと思います。いじめは人を傷つける行為だと気づかせることが大切です。もう一つは“いじめ”を正当化する場合です。あいつは約束を守らない、自己中心的だからいじめられて当然なんだといえます。先生もそういう点があるのかなと思ってしまうと、子ども達は先生から御墨付を貰った気分になります。先生は、例えば「その子に欠点があったとしても、だからいじめてよいことにはならないんだ」ということを伝えることです。問題となる欠点は後でその子どもを指導すればよいでしょう。

### その原因と考えられるものは

**司会** 家庭の教育力の低下がいわれている中で、校長先生の立場で背景なり原因をどう見ておられますか。

**荻谷** 学校としてはいじめ問題についてなかなか目の行き届かない現状があり、学校のあり方そのものが問われているという気がしています。いじめの原因を作っているものは様々に考えられますが、人間尊重の意識が低いことが考えられます。学校現場では第三者の不用意な発言が多いと思います。子ども



荻谷 順子 先生

達の発言には人を思いやる気持ちがまだ十分に育っていない気がします。思いやる気持ちがあれば不用意な言葉ができません。教員にも同じようなことが言えると思います。先程、自己表現力のお話がありました。本校でも子ども達に表現力をつける指導をしています。はっきり、YES、

NOを言えるようにする子ども達を育てたいと考えています。電話がかかった時でもYES、NOをはっきり言えば、子ども達の関係が後を引かないことになります。良い関係で友達や担任そして大勢の先生達と係わりがもてるようになります。子ども達が集団活動や部活動のどこかで力を発揮できるような学校でありたいと思っています。

**司会** いじめの背景等につきまして先生方がおっしゃられることは共通しておりますが、いじめの原因は何と思われませんか。

**宮村** 私はいじめている子どもに原因があると思います。例えばいじめられていると訴えてくる子どもがいるとします。教師の方もいじめている子どもに対して出席停止の措置をとりたくとも、基準があいまいなところがあって人権問題などもからみ対応がきちっとできない。そうするといじめられている子

どもが背を向けてしまって、先生方に対して不信がでできます。従って基準をもっと明確化してほしい。もう一つ、背景として教師の指導力というか、とらえ方が問題になります。いじめられている子どもが、担任の先生に「誰にも言わないで下さい」と訴えても、皆の前で原因について尋ねてしまったりして、逆にあとでいじめがひどくなることもある。先生方の中にはいじめに対する研修を必要とすると思われる人もいます。学校の方へは心の健康とかいじめの問題の研修の案内がくるのですが、なかなか参加する方が少なく、心の健康問題が全員の人に理解されない現状があります。私は、心の健康問題は一番大事な教育課題なので必修として、全員の先生方が研修を受け、共通理解を持つことが大切ではないかと思っています。

**荻谷** 中学校で教員が研修に行くことは、教科指導のみだけでなく、部活動に熱中して指導していることもあるため至難の技です。十条中学校では、出来る限りの時間を有効に使って、スクールカウンセラーを講師として研修するようにして意識の高揚を図っています。そうしますと教員の資質向上が図れます。文部省でも教員免許の中にカウンセリングの単位を入れたいと希望していました。教員になる前に教育相談関係の内容について学ぶことが大切と言われるようになっていきます。

### その対応について

**司会** 父母も教師も忙しい、心の交流がとれないなど、人間関係の希薄の中でいじめ問題の背景とか原因をお聞きしましたが、心の健康、精神保健の役割といじめの対応についてご意見は如何でしょうか。

また、精神科の先生のアドバイスはどうでしょうか。  
**大場** 私は養護教諭をやっていた頃ですが、町田市ですが心身障害者学級がある所には、精神科の先生がついておりました。学校保健委員会のメンバーですから、内科校医は内科の健康相談、精神科の先生は心の相談という部門をもってもらいました。その前に養護教諭が事前に子ども達にスクリーニングをし、先生には専門的に年に2回位アドバイスをもらっておりました。

**司会** 東京都や岡山県など自治体が予算をつけて段々と普及してきていますが、一般には未だ知られておらず、今後の問題と思います。

**荻谷** 北区でも問題が生じた場合には精神科専門医に来ていただいています。情緒障害学級があります。その学校には、また別の先生が相談に来て下さっ

ています。

**菅野** 直接に病院というのは抵抗が多いと思います。特に小学校、中学校で精神科の先生が来て下さる、巡回して様子を一寸でも見て下さることがあれば本当に良いと思います。

**司会** このような問題は組織的に柔軟に対応して外部からの力をお借りして対応することが必要ですね。

**菅野** 学校にはどうしても限界がありますからね。

**司会** 保健室がいじめや不登校児などの多くの役割をはたしていますが、このことにつきまして校長先生のお立場からお考えを…。

**菅野** 保健室は心と体の問題を相談する場所になっています。

最近、特に養護教諭への要求度が高くなってきています。養護の先生が教員の中でうまくかかわれると全てがうまく行きます。体の疾患ばかりでなく、非行などが多いと保健室にながれてくる子どもが多くなってきます。保健室は学校の中の重要な位置と役割りを果たしています。

私の学校の養護教諭は子どもに対して適切な指導をし、担任の方からも信頼を得ています。

**司会** 養護教諭の力量と人間関係が大切ですね。



福原 保子 委員

**菅野** 色々な学校にお伺い致しますが、学校によって位置付けとか重みが違うなど感じます。学校によっては養護の先生と呼ばずに「養護さん」と呼んでいるところすらあるようです。いわゆる教員として認めていない。私は管理職の先生がきちんと認めて教員と同等の発言の場を与えることが大切だと思います。それと同時に養護教諭も心掛けることもあります。一つはある面で学級の秘密をしゃべってくれる。その時に弱味をにぎったというような気持ちになってはいけないと思います。同じ痛みを持っていると理解して欲しい。また、余り専門用語を使わないようにして対話することも大切です。一般の先生方との共通の言葉がなくなってしまうからです。そして、保健室にくる子どもをかかえこまないことも大切です。一人の生徒はクラスの子であり学校の子もだからです。担任と良く情報交換することが大切です。最終的には養護の先生に一般の先生方が自分の悩みとかを相談するようになったら本物だと思います。

**菅野** 本校はそれに近いと思います。健康面ばかり

でなく担任と養護の先生が一緒になって相談し、生徒へ手紙のやりとりなどもしています。

**菅野** そうということが普段あるといいですね。

**菅野** 養護教諭と担任と一緒に人間関係を良くすることが大切です。また、どこの養護教諭もそうでしょうが、エイズ、禁煙教育など年間指導計画をたて各学年に指導し、一生懸命努力しています。

**宮村** 養護教諭がほめられまして面映い思いをしていますが、私は子どもの為に何が出来るかを考えて仕事をしております。先程のお話は養護教諭が教育者の認識を持っているか、いないかの違いではないかと思います。すなわち、①教育職員としての教育機能を生かしている、②保健室の機能を生かしている、③医学的な素養を持っている、という3つの養護教諭の職務の特質を認識して、教育活動の一環としてヘルスカウンセリングをとらえ、問題を1人で抱え込むことなく、校内、校外の職員または、専門家等と連携を持って解決を図ることが一番大事ではないかと思っております。

**司会** 以前、養護教諭でいらっしゃった大場先生からもひと言どうぞ。

**大場** いつも思うのは、保健室はいつでも、今ここの対応だと思います。そこへ子どもがくれば子ども、担任がくれば担任の悩みを聞くことだと思います。特に陥り易いのは子どもに係わっている時がありますよね。その時に、自分と担任と意見が違っていると、つい子どもの悩みを中心に考えてしまい、他人を攻撃してしまうことがあります。担任が悩んでいるのですから、自分の意見はちょっと置いておいて、担任の悩みを今ここで聞くことが大切だろうと思います。切り換えも大事です。

### いじめ根絶の方策は

**司会** まとめに入りたいと思います。いじめ解決については行政からはすでに対策や通知、また冊子も数多く出ておりますが、ここでいじめをなくするための基本的なこと、ご注文も含めてご提示下さい。

**菅野** いじめに対応して思いやりという言葉がいわれますが、子どもにとって思いやりのモデルがどの位あるか、家庭、学校の中でモデルが示されなければならないと思う。そういう意味で先生方が、どれだけモデルが示されるかということが大事だと思います。親なり教師なりに叩かれて育った子はなぐり方が上手になりますよね、つまり体験学習させている訳ですから。なぐるということはこれだけの効果があるということをしっかり教えていることですか

ら、結果的にはその子に暴力を教えているということ  
を自覚する必要があります。逆に体の中に思いや  
るということの安心感とか、うれしい、楽しい感じ  
をいっぱい注入することがとても大事だと思います。

**司会** 愛されて育った子は、愛することを知ってい  
ますね。

**菅野** 思いやられて育った子が思いやることができ  
ます。単純なことなのです。

**司会** 学校は安全で楽しいところにするのが大切  
ですね。

**苅谷** それが一番です。よく心の居場所といわれま  
すが、家庭が崩壊しますと心の居場所がなくなりま  
す。子どもにとって、心の居場所は、学校、地域の  
どこにあってもよいと思っています。心休まる人間  
関係が作れば誰でもいい、父母がだめなら担任で  
も、友達でも誰でもよいと思います。その人間関係  
が出来るとその子は救われます。自殺という最悪の  
状態には陥らないと思います。どのような人とも良  
い関係が作られるような子どもになるように、小さ  
い時から育てていきたいし、私達の努めであろうと  
も思っています。そのようなことを考えていかない  
と子どもは救われません。

**司会** 学校教育におけるいじめ根絶の方策について  
ご意見を。

**苅谷** 人間尊重の精神を持って人間としてどう生き  
ていくか、どう関っていくか、が一番大切なことと  
思います。勉強ができるとかできないとかでなくて、  
自分がどう生きていくか、自分が他の人と違うこと  
を理解し、自己を確立して強い力で生きていくよう  
指導していくことが大切です。

**宮村** 私は教師の資質の向上、研修にこだわりたい。  
特定の先生に説得されると子どもは素直に言うこと  
を聞きます。先生の資質によると思いますが、この  
ような先生がもっと増えたらと思います。

先生の指導の仕方によっては反抗して逆効果にな  
ることもありますから。子どもの側に立った心の健  
康を研修することがいじめをなくすことにつながり  
ます。

**司会** ある小学校で休み時間を増やして先生と子ど  
もと一緒に遊んだりしていたら、子どもがストレス  
を発散していじめや登校拒否がすくなくなった、と  
聞いたことがあります。

**菅野** 子どもって全てを言葉で表現できない所があ  
ります。体の動きが言葉になっている部分がありま  
す。遊びがセラピー（治療）になったりもします。  
遊びの中で学ぶ。先生もこういうところがあったん

だと子どもが感ずる。多面的な理解ができて良い効  
果が出てくると思います。

**司会** 遊びの中で人間関係ができますね。

**菅野** そういう記憶の方が体の中に残っていたりす  
るものです。

**司会** 父親と子が小学校の時から毎日話し合う時間  
を多く持つように努力した。何かあったら俺に相談  
にくるのではないかと期待して。

**苅谷** 米国のコロラド州で中学校で思いやりの心を  
育てるトレーニングを見学しました。くもの巣状に  
ロープを張り、その穴を全員が違う穴をくぐり抜け  
るゲームです。しかもロープに触れれば初めからや  
り直しをする。必ずリーダーが出て皆で体を支えな  
がら協力し合う、一致協力して行わないとできない  
仕事を体験させて学ばせていました。日本ではこの  
ようなことをやっていませんが、学校の中で取り入  
れたら面白いと思います。

私の学校は運動会でクラス単位でピラミッドを組  
み立てています。練習の段階で完成した時、子ども  
達は、三本締めをやって大声を出して喜んでいまし  
た。「でき上がった」という喜び、そういう喜びの  
中で人間関係が作られると思います。

**菅野** 必要以上にケガをこわがってなかなかやらな  
いのですよ。

**苅谷** ええ、先生達が回りをぐるっととり囲んでや  
っていますよ。

**司会** 苅谷先生の学校のスクールカウンセラーの位  
置付けと、具体的な役割についてお聞かせ下さい。

**苅谷** 教育相談の中に位置付けています。一番のね  
らいは、教職員の資質の向上にあると思います。カ  
ウンセラーとしていくつもケースを抱え込むと身動  
きできなくなります。一週間に8時間という勤務で  
す。親の面接、子どもの面接もします。子ども達も  
相談に乗ってくれる先生だなあと思いますが必ず相  
談に行きます。保健室の隣に相談室がありますので  
昼休みなど大勢集まり、その中でカウンセラーは、  
一人一人に対応しています。

その他、教員のロールプレイングなどの研修、地  
域への講演会も開いています。本校の教員の質が高  
まったのではないかと思います。

**司会** 外部のカウンセラーには相談し易いのですよ  
ね。

**菅野** 今の子どもたちは話を聞いて貰いたいのです  
よ。

**司会** 時間がまいりました。今日は大変よいお話し  
をお伺いいたしました。有り難うございました。

# 平成8年度 叙勲された学校保健の功労者 《 春 》 《 秋 》

◎ 学 校 医

〈旭 五〉

飯野 太郎 (山形県) 乾 和彦 (鳥取県)  
代田 順 (長野県)

〈瑞 五〉

加藤 勉 (福島県) 小泉 清 (秋田県)  
久富 良次 (神奈川県) 福岡 龍亀 (静岡県)  
宮本 周三 (和歌山県) 村上 三郎 (群馬県)  
山名 三折 (福岡県) 星野 和子 (愛知県)

◎ 学校歯科医

〈瑞 五〉

青景 茂樹 (広島県) 井關 拓 (高知県)  
小杉 元治 (富山県) 瀬底 正俊 (沖縄県)  
太原 一雄 (鹿児島県) 中瀬 隆 (徳島県)  
中村 正夫 (茨城県) 丸山 敏夫 (埼玉県)  
山根貞二郎 (山口県) 齋藤 フサ (岩手県)  
藤田 トク (青森県)

◎ 学校薬剤師

〈旭 五〉

児玉治兵衛 (宮崎県)

〈瑞 五〉

志賀 泰亮 (北海道) 布野利太郎 (鳥根県)

◎ 学 校 医

〈瑞 四〉

上岡 輝方 (神奈川県)

〈旭 五〉

齋藤 實 (群馬県) 南波 久男 (静岡県)  
井田 扶 (三重県)

〈瑞 五〉

橋本 兼男 (岩手県) 門間久仁彦 (秋田県)  
本間 繁雄 (福島県) 渡辺 濟 (茨城県)  
清水 静枝 (埼玉県) 齋藤 達子 (千葉県)  
高嶋 學 (富山県) 林 信元 (岐阜県)  
中村 美子 (愛知県) 森井 一 (大阪府)  
松村 公平 (鳥根県) 古中 久敬 (岡山県)  
津島 治雄 (広島県) 住友 純 (徳島県)  
有川 昌男 (宮崎県)

◎ 学校歯科医

〈旭 五〉

河野 修 (和歌山県)

〈瑞 五〉

横 さち (青森県) 太宰 靖夫 (宮城県)  
町田武一郎 (長野県) 吉田富美子 (山口県)  
塩田 尚文 (香川県) 岩屋 常夫 (長崎県)

◎ 学校薬剤師

〈瑞 五〉

絹卷 保 (兵庫県)

## 第44回 全国学校保健研究大会 文部大臣表彰の個人・学校・団体

◎ 学 校 医 (55名)

池田 裕 (北海道)	樋口 忠 (北海道)	大垣 政男 (青森県)	久保木 高 (岩手県)
長澤 杏子 (岩手県)	相沢 慎吉 (宮城県)	村山 徳治 (秋田県)	富永 健 (福島県)
平山 義夫 (茨城県)	加瀬昭一郎 (栃木県)	佐藤 昭三 (群馬県)	宮川 理平 (埼玉県)
池 二郎 (千葉県)	川崎 猛 (千葉県)	善利 豊實 (東京都)	田中 慎一 (神奈川県)
橋本 豊島 (神奈川県)	青木 忠夫 (神奈川県)	桐生 三郎 (神奈川県)	金子 良正 (富山県)
別所 富夫 (石川県)	佐藤九十九 (山梨県)	木之瀬昭平 (山梨県)	重盛 萬春 (長野県)
竹内 一正 (岐阜県)	本多 傳 (静岡県)	成田 眞康 (愛知県)	伊藤 泰廣 (愛知県)
長崎 靖 (三重県)	山敷 祐亮 (滋賀県)	谷口 謙 (京都府)	梶野 義一 (大阪府)
中村 善長 (大阪府)	西山 孝 (兵庫県)	池田弘之助 (兵庫県)	玉井四良平 (兵庫県)
小松 常治 (奈良県)	宮崎 正人 (和歌山県)	西 亮平 (和歌山県)	松田 泰彦 (鳥取県)
清水 正 (鳥根県)	新開 實 (広島県)	北岡 忠 (徳島県)	市木 肇 (香川県)



吉村 重澄 (高知県)	大林 孚雄 (福岡県)	合屋 寅男 (福岡県)	最所 敏明 (佐賀県)
吉田 祐彦 (佐賀県)	横尾 秀典 (長崎県)	佐藤 豊士 (大分県)	有川 昌男 (宮崎県)
児玉マサ子 (宮崎県)	金城 和夫 (沖縄県)	野原 俊一 (沖縄県)	

## ◎ 学校歯科医 (39名)

麻生 謙介 (北海道)	杉村 力男 (北海道)	久保田丈夫 (岩手県)	宮澤 昇 (青森県)
廣幡 直純 (秋田県)	佐藤 熊亀 (福島県)	小島 建一 (茨城県)	今成 虎夫 (群馬県)
勝沼 和弘 (埼玉県)	加賀美寶富 (千葉県)	斎藤 孝正 (東京都)	田中 徹也 (東京都)
櫻井 善忠 (東京都)	田中 規正 (東京都)	島田 恒夫 (神奈川県)	青柳 信 (神奈川県)
和田 昭二 (石川県)	伊藤 章 (岐阜県)	大島 通男 (愛知県)	富永 才助 (滋賀県)
長谷川博久 (京都府)	井上 一男 (大阪府)	元島 民郎 (大阪府)	藤原 仁 (兵庫県)
溝上 正哉 (和歌山県)	中尾 澄子 (鳥取県)	栃木 禮子 (鳥根県)	田中 繁登 (広島県)
北山 敏雄 (香川県)	依岡 節男 (高知県)	野見山滋光 (福岡県)	田中 義郎 (佐賀県)
末永 順一 (佐賀県)	橋原貴美子 (長崎県)	井手 直治 (長崎県)	辛嶋 善次 (大分県)
山田 勝男 (宮崎県)	山本 照子 (鹿児島県)	西平 守廣 (沖縄県)	

## ◎ 学校薬剤師 (20名)

仁木 近幸 (北海道)	小林 忠 (山形県)	中原 秀夫 (埼玉県)	若名 英男 (千葉県)
秋山 精一 (東京都)	津田 興代 (富山県)	太田 勝章 (長野県)	春山 善子 (愛知県)
大西 烝治 (大阪府)	佐々木清臣 (大阪府)	山添 一雄 (兵庫県)	平松 良一 (岡山県)
満長 圭子 (山口県)	田村 嘉孝 (徳島県)	畑山 文子 (高知県)	木村 英樹 (福岡県)
藤田與兵衛 (佐賀県)	宮崎 信吉 (熊本県)	浦田 誠士 (宮崎県)	森蘭 一夫 (鹿児島県)

## ◎ 校 長 (1名)

金井 孝司 (新潟県)

## ◎ 養護教諭 (7名)

齊藤 光子 (青森県)	古川ツネ子 (栃木県)	相沢 菊江 (東京都)	高田 敏子 (石川県)
市木美知子 (京都府)	福島美登里 (奈良県)	山浦 揚子 (佐賀県)	

## ◎ 保健行政等 (2名)

藤原 満美 (鳥根県)      宮崎 俊行 (佐賀県)

## ◎ 学校保健・学校 (8校)

栃木県石橋町立石橋小学校	東京都文京区立真砂小学校	福井県福井市立円山小学校
静岡県天城湯ヶ島町立狩野小学校	岡山県和気町立和気小学校	愛媛県丹原町立丹原小学校
愛媛県八幡浜市立愛宕中学校	熊本県熊本市立砂取小学校	

## 虎の門(38)

### 当 分 の 間

学校給食では、従来からなまで食べる果物などを除く全ての食品は学校で完全に熱処理したのち給食することとされてきました。

しかし、昨年2学期以降、従来なまで食べていた野菜については、当分の間、完全に熱処理したのち給食することになりました。

当分とは広辞苑によれば、①数人で分担する場合の自分の引き受

ける部分、②事があってから少しの間。当座。③近い将来まで、しばらくの間。さしあたり。と三つの意味があります。

現在、食材等の病原性大腸菌の原因究明が確定されず、対策も種々行っていますが、食中毒が散発しています。

学校給食が学校保健委員会で、学校、家庭、地域の夫々の役割分

担等を初心に還って考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

細菌という目に見えない、自然との戦いですが、学校給食におけるこの問題が将来まで続かないように、早い内にしっかりした対策をたて、「当分の間」ということばを取り払いたいものです。

(杉下順一郎会報編集委員)

## 第46回 全国学校保健研究大会 特別講演

## たくましく生きるために

—21世紀を展望したわが国の教育の在り方について—

中央教育審議会会長

理化学研究所理事長 有馬朗人

文部省学術顧問

## 日本の教育の特徴と問題点

わが国の教育は優れている。具体的に云うと非識字率がわが国では千人に2人、韓国37人、中国267人日本の次に低い米国が5人である。数学や理科では1970年、1983年のデータだが正答率65%と優れている。だから情報が早く伝達でき、正しく理解できるわけである。このことは江戸時代からの藩校や寺小屋の読み書きそろばん、と云う教育の伝統である。

このようにわが国は画一的に平均的水準が高い。しかし、問題点は非常に優れたものが出にくいことだ。これは当たり前のように公教育を国が行っているためだろう。欧米では公教育は地方自治体が行うためバリエーションが認められている。例えば米国では優秀な子どもは特別クラスで教育している。わが国では平等であるべしという考えの人が多く。入試改革のためにはこの公平性や、平等原則の考えを改めなくてはならないと思う。

## “生きる力”について

これからの教育はゆとりの中で生きる力を育成していくべきである。中教審の答申は①自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して行動し、より良く問題を解決する能力、②自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や、感動する心など、豊かな人間性と、たくましく生きるための健康や体力、と生きる力を定義している。

この定義はプラスの面で、もう一つは生き延びる力、すなわち逆境に耐える力というマイナス面が大切である。“いじめ”や不登校対策として注目していただきたい。

最近、気になることは子どもたちにハングリー精神の乏しいことである。小学生のアンケートによると安穏な生活を望む子が多いという。もっと夢を持った、目標や理想を持った子どもを育てていきたいものだ。もちろん挫折があるだろうが、それに耐える力を持つように教育していただきたい。そして自己責任を植えつけていただきたいと思う。

## “ゆとり”について

社会全体に“ゆとり”が必要であると思う。子どもたちが自分で考え生きる力を育てるには、教師に自己開発のできる時間を持つ“ゆとり”がなくては

ならない。そのための学校週5日制の導入が必要と考えている。中教審の答申では21世紀の初頭には、と謳っているが私は早くしてもらいたいと考えている。英米では40年前から5日制で、中国は昨年から5日制にした。

学校での教育の時間は少なくなるが、その分家庭がしっかりすべきである。倫理感や、しつけの教育については、家庭での役目を重要視したい。家事の手伝いをさせるとか、「親の背中を見て育つ」教育は大切である。また、地域社会では自然観察、歴史教育、音楽、スポーツなどの指導をお願いしたい。それにはボランティア活動を活用し、生涯学習の充実を強調したい。

## 独創性と個性について

この育成には基本の教育が絶対必要である。とくに小、中学校では個性を押さえないでほしい。具体的に云うと「好きこそ物の上手なれ」と云う諺のとうりである。特にできる子には特別クラスで教育し、独創性や個性を伸ばしていただきたい。

日本人には独創性や個性がないというのは大きな間違いである。戦前の日本人には独創性や個性を持った人は多い。戦後でも安く良い品を大量生産するのに独創性を発揮したわけで、そのため基本的発明発見にまで至らなかったと考えている。

## 21世紀に望むもの

昔のような倫理感を持ってもらいたい。最近、青少年の犯罪が急激に増加している。これは教育で少なくすることができる。子どものうちから十分に倫理感を持たせ、健全な心と体力を身に付けさせなくてはならない。そして胸を張って日本の文化に誇りを持ってもらいたい。

21世紀の日本は果たして大丈夫だろうか。あと50年するとエネルギー不足が来る。世界中にゴミが増え人口増加、食糧不足などと問題が多く、子や孫の時代は暗いものが予想される。私たち一人一人が努力してこれらに対処していかねばならない。

そして一人一人が家庭、地域、ふるさとを愛し、国を愛してもらいたい。愛国心のないものに人類愛は育たない。人類は自然と共存をして行かねばならない。それには教育が最も大切なのである。

(文責 編集委員長 杉浦 稔)

## 第47回全国学校保健研究大会の開催に向けて

鳥取県学校保健会事務局長 渡 楨 由 章

### 心に残る佐賀大会

第46回全国学校保健研究大会が秋深まる佐賀市で、11月15日(木)・16日(金)の両日にわたって盛大に行われました。

鳥取県は次期開催県として、田淵県教育長、入江県保健会長をはじめとする学校保健会役員、実行委員会役員等50名が佐賀大会の運営を視察させていただき、改めて開催県の大変さを実感するとともに、佐賀県民の暖かな人情にも触れることができました。

### 来年度は鳥取大会

全国各県の持ち回りで開催されてきたこの大会ですが、来年度は、一巡する最後の開催県として、鳥取県で下記のとおり開催します。

「童謡のふるさと鳥取」へぜひお越しいただくよう御案内いたします。

1 日 時 平成9年9月25日(木)・26日(金)

2 場 所 鳥取県立県民文化会館(全体会)

鳥取市内12会場(課題別研究協議会)

3 主 題 生涯にわたり、心豊かで、  
たくましく生きるこどもの育成  
—主体的に取り組む健康な  
ライフスタイルの確立—

### 4 関係団体行事

第28回全国学校保健・学校医大会

平成9年9月27日(土)

第47回全国学校歯科医協議会

平成9年9月25日(木)

第47回全国学校薬剤師大会

平成9年9月24日(木)

### 準備に御協力を

文部省、日本学校保健会、日本体育・学校健康センター等と協議しながら準備を進めております。

しかし、例年より2ヵ月近く早く開催いたしますので、文部大臣表彰、課題別協議会発表等の準備に御迷惑をおかけしますが、御協力をお願いします。

## 第35回全日本よい歯の学校表彰校

第35回全日本よい歯の学校表彰は、平成8年11月21日、東京都で秋篠宮、同妃両殿下ご臨席の下行はれた。第60回全国学校歯科保健研究大会にて、全国より87校の応募があり、最優秀6校に文部大臣賞と副賞、特別賞8校に日本歯科医師会より会長賞が授与された。

### 最優秀校

青森県八戸市立種差小学校

福島県大沼郡三島町立三島小学校

愛知県名古屋市立大宝小学校

富山県東礪波郡福野町立福野小学校

京都府京都市立百々小学校

沖縄県島尻郡具志川村立清水小学校

### 特別賞校

北海道中川郡本別町立勇足小学校

茨城県結城市立結城西小学校

埼玉県大宮市立桜木小学校

新潟県三島郡寺泊町立夏戸小学校

岐阜県揖斐郡池田町立宮地小学校

大阪府大阪市立放出小学校

鳥根県松江市立内中原小学校

鹿児島県始良郡蒲生町立蒲生小学校

プール用殺菌・消毒剤

# ネオクロール

四国化成工業株式会社

東京支社 大阪支店 福岡営業所 名古屋営業所  
0472(96)8181 06(251)4111 092(431)4111 052(705)0111






**JES(呼吸・吸圧)シューズ**

JESに学問を!  
科学されたJES(吸圧)シューズ!

アウトソール ミッドソール 中敷  
(ラバー) (衝撃吸収材) (ラバーソール)

三層式ソール

日本教育シューズ協議会 TEL(086)272-5463  
FAX(086)273-9439



学童の集団検尿に、  
エームス尿検査試験紙。

エームス尿検査試験紙

**ネフロスティックス-L**

体外診断用医薬品

バイエル・三共株式会社  
東京都中央区築地6丁目19番20号  
販売元:  
**三共株式会社**  
東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号 〒103 ☎0315255-7111  
JU1694-S

いのちの輝きを見つける

**Meiji** のど殺菌 うがい薬は 明治のイソジン

色あざやか 早く仕上がる

- ① のどで、強い殺菌力を発揮します。
- ② 細菌からウイルスまで、幅広く殺菌的に効きます。
- ③ 効きめあざやか。スピーディに殺菌します。
- ④ いやな口臭もシャットアウトします。

(効能) 口腔内及びのどの殺菌・消毒・洗浄、口臭の除去

**イソジン®うがい薬**

この医薬品は、「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください。  
製造発売元 **明治製薬株式会社**  
技術提携 ムンダイファルマ社

※50ml、100ml、250ml入りがあります。

**応急用酸素吸入器**  
オーツ-  
**O<sub>2</sub>パックA型**

●医療用具承認番号(62B)第519号(医家向および家庭向)  
●標準小売価格/9,800円(税別)

■本体サイズ 径90mm×高さ250mm  
■本体重量 900g  
■使用時間 12分(1回限り使い捨て)  
■酸素流出量 3.0ℓ/分  
■酸素総流出量 36ℓ以上

緊急の呼吸困難に備える  
学校の常備品です。

プール・運動時における  
突然の呼吸困難時に――

〈カタログ御請求下さい〉  
**M ミドリ安全株式会社**  
本社/東京都渋谷区広尾5-4-3 〒150  
電話/東京03(3449)9902  
キューキューオーツ-

育ちぎかりのひと粒!  
目・歯・骨を大切に……

ゼリー状ドロップ剤

**カワイ肝油ドロップ**

河合製薬株式会社 東京都中野区中野6-3-5